



第4章

環境保全に向けての 参加の促進

第4章 環境保全に向けての参加の促進

第1節 環境保全思想の普及・啓発

1 環境教育【高校教育課・特別支援教育室・義務教育課】

(1) 環境教育のねらい

学校においては、持続可能な社会の実現を目指し、児童生徒の環境問題への関心を高めるとともに、人間と環境のかかわり方や環境に対する人間の責任・役割について理解させ、環境の保全やよりよい環境の創造に向け、生涯にわたって主体的に行動できる能力や態度を育成することが大切です。

そのためには、以下のことが求められます。

- ① 教育課程への適切な位置づけと、年間指導計画に基づいた指導
- ② 全教職員の共通理解の促進と推進体制の確立
- ③ 地域の人材や自然、素材（ひと・もの・こと）等を生かした学習活動の工夫

(2) 「環境教育講座」の実施

教育センターの研修講座で、小・中・高・特別支援学校の教員を対象に、体験活動とおして、環境教育について認識を深めるとともに、指導力の向上を図る目的で実施しました。

○平成21年度「環境教育講座」

目的…身近な河川を広域的・多角的に観察したり説明を聞き、人や地域にとっての河川を再考察することで河川環境問題に関する識見を高め、授業等における環境教育実践への一助とします。

期 間…1日

会 場…高津川（益田市・吉賀町）

受講人数…20名（小：10名、中：10名）

研修内容

野外実習① 高津川河口の大ハマグリ
の生息地観察

野外実習② 絶滅危惧種ヒメバイカモ
の観察と自生地環境の観察

野外実習③ 高津川源流地環境の観察

野外実習④ 水生生物の採集と観察

講師…NPO法人アンダンテ 2 1

吉中 力、渡辺勝美

(3) 「学校版エコライフチャレンジしまね」の推進

- ・環境に負荷の少ない学校運営を目指して、平成18年度から県内全ての公立・私立・附属学校を対象にして開始しました。
- ・各学校での消費エネルギーを入力すると、自動的にグラフ化して表示したり、二酸化炭素の削減量を表示したりできます。また、各学校の取組計画や、活動レポートを掲載し、県民に広く公開することで、情報の発信や共有化も可能です。
- ・平成22年3月31日現在、246校の登録（県内の全ての小・中・高等学校・特別支援学校の約57%）がありました。
- ・学校版エコライフチャレンジしまね」のURLアドレス及びトップページアドレス
<http://www.ecoschool.jp/scl/>

第4章 環境保全に向けての参加の促進

トップページ (H22 3/28現在)



(4) 補助事業

「学校版エコライフチャレンジしまね」の登録促進と、環境学習の充実を目的に、産業廃棄物減量税の一部を活用し、小・中学校は「環境教育推進事業」、県立学校は「環境保全活動推進事業」を実施しました。

○環境教育推進事業

学校版エコライフチャレンジしまね登録数に対し、1校5万円を上限に、希望する市町村に対して補助を行いました。平成21年度は、16市町の103校に交付しました。交付対象校は、その成果等を「学校版エコライフチャレンジしまね」の各校のホームページ上でレポートしました。

○環境保全活動推進事業

希望する高等学校、特別支援学校に対し、一般的な環境教育活動では1校10万円、3R活動推進では1校20万円を上限に補助を行いました。平成21年度は、計21校に交付

しました。

(5) 環境教育の実践例

① 小・中学校の取組ー平成21年度全国環境学習フェア資料に掲載した実践校ー

○出雲市立田儀小学校

「人にやさしく、学校にやさしく、地球にやさしく」をテーマに、年間を通じ、全校でさまざまな環境保全活動に取り組んでいます。

・田儀海岸クリーン作戦

今年度で11年目となる海岸清掃活動です。

・環境見守り隊

ネイチャーアートやアルミ缶・牛乳パック回収、電気の節約などの幅広い活動による環境保全活動に取り組んでいます。

・町を明るくする運動

通学路ゴミ拾いやバス停清掃、育てた花を配るなどの、環境に関わる地域への貢献活動を行っています。

○隠岐の島町立布施中学校（現在は統合して隠岐の島町立西郷南中学校）

- ・エコスクール実行委員会活動
水と電気の節約、古紙利用などの環境保全活動を行っています。

- ・緑の少年団活動
みんなの森清掃、空き缶・アワビ殻回収を行っています。

- ・大満寺山教育キャンプ
「エコキャンプ」を行っています。

② 高等学校の取組

○江津工業高等学校

- ・廃材を利用した花壇づくり
家屋解体に伴う木材などの産業廃棄物を活用して、近隣の保育園に花壇づくりを行い、庭園制作技能を活かす機会とすると共に、保育園児と共に取り組むことにより、家庭、地域への3R活動に対する意識の浸透を図っています。

○隠岐養護学校

- ・クリーンアップ大作戦
学校周辺や遠足で利用する場所に出かけ清掃活動を行い、さらに集めたゴミは分別し3R活動について学びました。地域の人達と共に取り組むことにより、地域社会での環境保全活動の推進を図っています。

【各種受賞校等】

- みんなで調べる宍道湖流入河川水質調査
 - ・環境大臣賞
斐川町立荘原小学校
 - ・島根県知事賞
奥出雲町立八川小学校
 - ・国土交通省中国地方整備局長賞
奥出雲町立馬木小学校
 - ・宍道湖水質汚濁防止対策協議会長賞
出雲市立灘分小学校
雲南市立西日登小学校
松江市立湖東中学校

○みんなで調べる中海流入河川水質調査

- ・島根県知事賞
安来市立赤屋小学校
- ・島根県教育長賞
安来市立南小学校
- ・奨励賞
安来市立能義小学校、安来市立第一中学校

○環境美化教育優良校表彰

- ・散乱防止部門優良校
美郷町立大和中学校
- ・リサイクル部門優秀校
浜田市立松原小学校

○緑の少年団発表大会

- ・最優秀賞
益田市立横田中学校 緑の少年団
- ・優秀賞
川本町立川本西小学校 緑の少年団
浜田市立三隅中学校 緑の少年団
- ・みどりの奨励賞
雲南市立西小学校 緑の少年団
安来市立赤屋小学校 緑の少年団
出雲市立河南中学校 緑の少年団

○愛鳥モデル校

- ・安来市立南小学校
- ・奥出雲町立高尾小学校
- ・斐川町立出東小学校
- ・益田市立桂平小学校

2 こどもエコクラブ事業
【環境政策課】

こどもエコクラブ事業は、次世代を担う子供たちが、地域の中で仲間と一緒に主体的に地域環境、地球環境に関する学習や具体的な環境保全活動を展開できるように支援することを目的として、環境省の委託を受けた財団法人日本環境協会が実施しています。

平成21年度は、県内で78のこどもエコクラブが結成され、川の水質調査、生物調査など様々な活動を行いました。県は活動推進のため、各クラブ間の交流会を7月及び9月に開催しました。

第4章 環境保全に向けての参加の促進

表4-1-1 こどもエコクラブの登録状況

	登録クラブ	メンバー／ サポーター (人)
平成7年度	37	84／－
平成8年度	56	811／－
平成9年度	44	621／－
平成10年度	54	735／106
平成11年度	54	609／145
平成12年度	41	643／147
平成13年度	36	745／151
平成14年度	38	1,165／211
平成15年度	56	1,168／198
平成16年度	46	1,029／250
平成17年度	38	691／202
平成18年度	34	809／208
平成19年度	60	4,406／583
平成20年度	48	1,996／439
平成21年度	78	2,811／577
累計	720	18,323／3,217

第2節 各主体の環境保全活動の推進【環境政策課】

1 普及啓発事業

(1) 環境月間行事

平成6年度から環境月間を6月に改め、6月5日の環境の日を中心として、各種の事業を実施しています。

① 環境保全功労者の表彰

環境保全に関し、特に顕著な功績のあったものに対して知事感謝状を贈呈しました。

② 「クリーンしまね—環境美化行動の日」

実践活動を通じて環境美化意識や資源を大切にす意識の普及啓発を図るため、環境美化行動の日を設定し、広く一般参加を得て清掃活動、空き缶の分別収集とリサイクル等を行いました。

期日：6月7日(日)

提唱：島根県

内容：市町村、各種団体等により公園、緑地、水辺等の清掃や空き缶の分別収集

(2) 環境保全普及啓発の広報

今日の多様化した環境問題を解決していくためには、県民、事業者及び各種団体等の自主的かつ積極的な活動が不可欠となっています。

そこで、すべての県民が環境に配慮した行動がとれるように、県の環境施策や各種月間等の環境情報について、最も効果的な伝達媒体であるマスメディアを活用し広報・啓発を図っています。

- ・新聞広報 18件
 - …環境月間、地球温暖化防止月間、ノーマイカーデー等
- ・ラジオスポット放送
 - …エコドライブ

2 研修会の開催

市町村及び保健所等の、環境行政を担当する職員を対象に、環境行政の現状及び実務の知見や理解度を深めることを目的として、「市町村及び保健所環境・廃棄物担当者研修」を実施しています。

平成21年度は、改正された土壌汚染対策法や化学物質に関するリスクコミュニケーションに関する研修を実施しました。

3 環境白書の発行

本県の環境の状況や環境の保全に関する施策の実施状況等を取りまとめ、「環境白書」として作成し、各市町村、公立図書館、中学校・高等学校や関係機関等へ配布するとともに県のホームページに掲載し、県民や事業者への公表に努めました。

4 環境マネジメントシステムの普及・啓発

「企業が環境に関する方針や目標等を自ら設定し、これらの達成に向けて自主的に取り組むこと」といった内容を指す「環境管理」について、国際的な統一規格としてISO14000シリーズ環境管理システムに関する一部が平成8年9月に規格化されました。

環境マネジメントシステムは、簡易版も含めて今日の環境問題解決への有効な手法であるので、事業者の認証取得への情報提供を図っています。

第3節 参加と連携による地域環境づくりの促進

[駒しまね自然と環境財団実施事業]

地元イベントへの参画：56回、
キャンペーン事業・交流活動：のべ146日

1 こども環境学習支援事業

(1) しまね環境学習推進事業（もったいない生活日記）の実施

県内小学生を対象に夏・冬休み期間中に「もったいない生活日記」を募集し、親子で地球温暖化防止の取り組みをしてもらいました。

参加者：1,630人

優秀な取り組みに記念品授与。

(2) 島根オリジナル環境学習展開事業

温暖化防止、環境保全に関する学習プログラムを開発する目的で2年目事業を行いました。2年目は試作した3種のプログラムを地域の学校で試行し、実際に活用できるよう検討・改良を行いました。

検討会開催：4回、

学習教材の試行：3種、2回

2 環境保全活動支援事業

(1) 環境情報収集・整理・提供

① 図書・器材類を収集・整理し県民に分かりやすく提供しました。また、ホームページで各種情報案内や各事業に関連するサイトで情報を提供しました。

購入図書：11冊、

パネル及び器材の貸出：22回

② 機関誌の発行

財団の情報誌「さんべ発」などを利用して情報提供を行いました。

配付部数：(固定) 約3千部×6回。

(2) ネットワークの形成

県西部に環境問題に取り組むモデル団体を育成し、西部地域のネットワークの形成や運動の広がりを推進しました。

(3) 環境保全活動助成事業

① ふれあい環境助成金の交付

県内のボランティア団体や法人が行う自主的な環境保全活動を支援するため資金の一部をに助成しました。

助成件数 41件

助成額(確定) 10,280千円

② 講師・指導員派遣事業

環境アドバイザーとして15名を委嘱し、県民や事業者が実施する研修会等に派遣しました。

平成21年度派遣件数 21件

3 地球温暖化対策事業（島根県地球温暖化防止活動推進センター事業）

(1) 島根県地球温暖化対策協議会の運営

島根県地球温暖化対策協議会の運営

平成17年に設立した島根県地球温暖化対策協議会の事業として5月に幹事会、6月に推進会議、12月に推進大会を実施しました。また、3部会（家庭、事業者、行政）運営を実施。さらに協議会のホームページを更新し情報提供を行いました。

(2) 温暖化防止県民運動の展開

平成17年度からの「県地球温暖化対策推進計画」の実施に伴い、地球温暖化防止活動推進員及び市町村等との連携により、県民あがりの取り組みとして環境家計簿（エコライフチャレンジしまね）の推進を図りました。（H21年度末のべ参加者：7,103世帯）

また、地球温暖化防止への取り組みを推進するため、県内一円でエコドライブ推進キャンペーンやマイバッグキャンペーンなどを実施しました。

(3) 省エネ・3Rの県民行動促進（しまねCO₂ダイエット作戦）事業

省エネ製品への買い換えやレジ袋を断る等のCO₂削減につながる消費行動に対して、事業者サイドがエコポイント等経済的インセンティブ（サービス）を付与する社会の仕組みづくりを促進し、県民の自主的な取り組みを誘発しました。

協賛店舗数：977店

(4) 環境フェアの開催

県民一人ひとりが環境問題を理解し行動することが必要であるため、国の補助を受けて「しまねエコフェスタ」を開催しました。メインフェスタは10月24・25日の2日間、パネル・写真展示は引き続き1月11日まで実施しました。

- ・ 日 時 平成21年10月24日～平成22年1月11日
- ・ 場 所 大田市（島根県立三瓶自然館）
- ・ 参加者 約15,700人
（うち24・25日は7,000人）
- ・ 概 要 環境関係13団体の出展。子供から大人まで楽しく学べる内容とし、講演会、パネル・写真展示、エコ体験を主体とした内容で実施しました。グリーン電力や環境家計簿の取り組み等により3,460kgのCO₂を削減しました。

(5) 地球温暖化防止活動推進員研修の開催

国からの委託を受けて、県が委嘱した島根県地球温暖化防止活動推進員133名に対し、基礎研修・ステップアップ研修・事例研修等を松江市ほか県内各地で実施しました。推進員の資質向上と平準化を主眼にし、研修回数は12回、参加者はのべ445人ありました。

(6) 一村一品知恵の環事業

地域で活動している地球温暖化防止の活動を掘り起こし、優秀な取組を紹介していくことにより地球温暖化防止のムーブメントを起

こしていくことを目的に、平成19年度から環境省の委託を受けて実施。県内から応募のあった9件からグランプリ「小さな島のエコスクール～中学生が島を変える～（海士町）」等を選定しました。グランプリ団体は県代表として2月の全国大会に出場し、優秀賞を受けました。

4 住宅用太陽光発電支援事業

太陽光発電普及拡大センター（J-PEC）の委託を受けて国が行う「住宅用太陽光発電設置支援事業補助金事業」の島根県窓口として専任スタッフの配置等体制を整え、申請書・相談等の受付窓口業務を行いました。

申請件数：923件

（平成21年4月～平成22年2月）

また、県が平成21年度9月補正で「住宅太陽光発電等導入促進支援事業」を予算化、開始し、財団法人しまね自然と環境財団が窓口団体の指定を受けたことから、同年12月からこの申請に係る受付、相談等の事務処理や確認調査を行いました。

申請件数：361件

